

## はじめに

外国人介護人材の受入れに関しては、平成20年度から導入されていたEPA（経済連携協定）に基づく在留資格に加えて、新たに在留資格「介護」（平成29年9月1日施行）、技能実習（「介護職種」追加：平成29年11月1日施行）、特定技能（平成31年4月1日施行）と、国内外での介護人材需要の高まりを受けて在留資格が拡大されました。

このうち、技能実習制度における「介護職種」の追加は、対人サービスとして初となることから、厚生労働省に設置された「外国人介護人材受入れの在り方に関する検討会（中間まとめ）」（平成27年2月4日）での審議結果を踏まえて、公的評価システムである「介護技能実習評価試験」が認定されています。

制度の施行以降、外国人技能実習機構における介護職種の技能実習計画の申請・認定件数は、急速に増大しており、「介護技能実習評価試験」の受検者数も、平成30年度（令和元年3月のみ）～令和元年度の合計が2,210名であったものが、令和3年2月末現在では、4,705名となるなど急速に増加してきており、試験の円滑かつ効率的な実施が課題となっています。

また、この「介護技能実習評価試験」については、技能実習生が介護現場で実際に利用者に対して業務として行っている介護行為について、試験評価者が実習実施者に赴き「現認」し評価する仕組みとされていますが、近年、甚大な自然災害の発生や感染症の感染拡大に伴い、介護施設等への外部からの訪問や接触が困難となる状況が発生したことで、試験評価者による現認での試験の実施について困難が生じています。

このため、本事業では、介護技能実習評価試験の効率的な実施について検討するため、検討委員会（委員長：原口 恭彦 東京経済大学 経営学部 教授）を設置し、試験にかかる諸手続き業務の効率化の検討及び検証、オンライン評価の検討及び検証を実施し、報告書を取り纏めました。

検討委員会の委員の皆さまはじめ、アンケート調査、ヒアリング調査にご協力いただいた皆さま、オンライン評価の検証にご協力いただいた社会福祉法人小田原福祉会 特別養護老人ホーム潤生園の皆さま、ご指導をいただいた厚生労働省 社会・援護局 福祉基盤課 福祉人材確保対策室の皆さま、調査研究協力をいただいた株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所の皆さまに、感謝申し上げます。

最後に、この「介護技能実習制度」及び「介護技能実習評価試験」の適正な運営を通じて、今後急速に高齢化が進むアジア諸国に対して、我が国が培ってきた介護技能等の移転を図り、その経済発展を担う「人づくり」に寄与できることを願ってやみません。

令和3年3月

一般社団法人シルバーサービス振興会

# 目次

<b>第1章 調査研究概要</b> .....	<b>1</b>
1. 事業の背景と目的.....	2
2. 事業実施体制.....	3
(1) 検討委員会.....	3
(2) 調査研究協力.....	3
3. 各種調査の実施概要.....	4
(1) 調査1：「試験にかかる諸手続きの効率化の検討及び検証」の概要.....	4
(2) 調査2：「オンライン評価の検討及び検証」の概要.....	6
<b>第2章 調査1：試験にかかる諸手続きの効率化の検討及び検証</b> .....	<b>7</b>
1. 試験にかかる諸手続きの効率化の検討の経緯.....	8
(1) 試験実施機関における試験にかかる諸手続きの分析と課題抽出.....	8
2. アンケート調査について.....	13
(1) アンケート調査票の設計.....	13
(2) アンケート結果（監理団体票）.....	15
(3) アンケート結果（調整窓口担当者票）.....	20
(4) 課題仮説に対する考察.....	26
3. アンケート調査結果を踏まえた試験にかかる諸手続きの効率化の検討及び検証結果..	29
(1) 監理団体向け試行版システムの検討.....	29
(2) 調整窓口担当者向け試行版システムの検討.....	34
(3) 業務工程チェックリストの検討.....	37
(4) 試験日時調整方法のモデル例提示の検討.....	41
(5) 受検手続きにおけるその他の課題.....	42
(6) 試験にかかる諸手続きの効率化に関する検討及び検証結果のまとめ.....	43
<b>第3章 調査2：オンライン評価の検討及び検証</b> .....	<b>47</b>
1. 検討の経緯.....	48
(1) オンライン評価の考え方について.....	48
(2) オンライン評価の検討.....	53
2. 検証内容.....	56
(1) 検証の実施範囲.....	56
(2) 検証項目.....	56
(3) 検証方法.....	57
3. 検証結果.....	61
(1) 検証① 試験評価者の現認の際の視点検証.....	61
(2) 検証② Live 映像による評価の視点検証（学科試験・判断等試験）.....	68

(3) 検証② Live 映像による評価の視点検証（仰臥位から側臥位の介助） .....	74
(4) 検証② Live 映像による評価の視点検証（車いすでの移動の介助） .....	76
(5) 検証③ 同じ介護行為の現認と映像評価による違いの検証 .....	81
4. 検証結果のまとめと課題 .....	82
(1) 学科試験、判断等試験のオンライン評価結果と課題 .....	82
(2) 実技試験のオンライン評価結果と課題 .....	84
(3) その他の課題 .....	87
<b>第4章 介護技能実習評価試験の効率的な実施について .....</b>	<b>89</b>
1. 介護技能実習評価試験の現状 .....	90
2. 手続き業務の効率化のための方策 .....	91
3. オンライン評価の課題 .....	93
(1) 「学科試験・判断等試験」におけるオンライン評価の試行と検証結果 .....	93
(2) 「実技試験」におけるオンライン評価の試行と検証結果 .....	94
(3) オンライン評価の検証結果（総括）について .....	95
4. 今後の展開 .....	97
<b>参考資料 .....</b>	<b>99</b>
1. アンケート調査票（監理団体） .....	100
2. アンケート調査票（調整窓口担当者） .....	112
3. 調査1：アンケート調査結果 .....	124
4. 調査1：ヒアリング個票 .....	143
(1) 監理団体 .....	143
(2) 調整窓口担当者（試験評価者所属法人） .....	155
5. 調査1：試行版システムの操作マニュアル .....	164
6. 調査1：業務工程チェックリスト .....	174